

(会長声明)

安保関連法案採決について

私たち社会福祉士は、「差別、貧困、抑圧、排除、暴力、環境破壊などのない、自由、平等、共生に基づく社会正義の実現」を目指し、「社会福祉士倫理綱領」の価値を基盤として日々活動しています。また、公益社団法人東京社会福祉士会はその理念で、「豊かな地域生活の実現のため」、社会福祉士の団体として「ソーシャルワーク実践を行うこと」を掲げています。

私たちは、これまでのわが国の安全保障のあり方を大きく転換する重要な法案である安全保障関連法案が、多くの国民や学者から反対論が出され、国民の理解も進んでいるとはいえないまま衆議院本会議で採決されたことは、民主主義の原則に照らしても問題であると考えます。今後、参議院においては、与野党が真摯な態度で慎重な討議を行うことを強く望みます。

私たち社会福祉士は、これからも社会正義を守る観点から国会での議論を注視するとともに、私たち自身も様々な施策や世の中の動きに対し議論を尽くしていきたいと考えています。

平成27年9月1日

公益社団法人東京社会福祉士会

会長 大輪典子